

茂原市自治基本条例を考える市民の会 1年半を振り返って (H25.9.25)

項目	H25.9.11 運営委員会	H25.9.3 全体会
タイトル	<u>茂原市自治基本条例を考える市民の会 1年半を振り返って</u>	<u>まえがき</u>
1 年半を振り返って	<p>「住んでよかったと思えるまち茂原」を実現するため、市民と行政等との協働によるまちづくりを学び合いましょうという、市から市民への呼びかけで『共生と共創のまちづくりもばら市民塾』がスタートしたのは、2年前の2011年10月のことでした。</p> <p>37名の市民が応募し参加しました。年齢や職業、体験してきたこともさまざまでしたが、“茂原のことをもっと知りたい”、“茂原をよくしたい”、“そのために役に立つことがあれば”という思いは共通していたと思います。総合計画、財政、行財政計画、市議会などに関する学習と、協働と市民参加や自治基本条例などについて学びました。</p> <p>この市民塾の後、<u>市長から市民への呼びかけで市内10か所において『自治基本条例を考える市民の会』の地域説明会を開催し、委員を公募しました。</u></p> <p><u>35名がこれに応じ、翌年1月28日に市長から委嘱状を受け、第1回会議を開きました。</u></p> <p>第1回会議では、自治基本条例はだれのための条例か、また本当に必要なものなのかという議論から始まりました。このとき全国には200以上の事例がありま</p>	<p>「住んでよかったと思えるまち茂原」を実現するため、市民と行政等との協働によるまちづくりを学び合いましょうという、市から市民への呼びかけで『共生と共創のまちづくりもばら市民塾』がスタートしたのは、2年前の2011年10月のことでした。</p> <p>37名の市民が応募し参加しました。年齢や職業、体験してきたこともさまざまでしたが、“茂原のことをもっと知りたい”、“茂原をよくしたい”、“そのために役に立つことがあれば”という思いは共通していたと思います。総合計画、財政、行財政計画、市議会などに関する学習と、協働と市民参画や自治基本条例などについて学びました。</p> <p>この市民塾を経て、『自治基本条例を考える市民の会』が<u>翌年1月に発足しました。第1回の会合で市長から市民35名が会員としての委嘱状を受けました。</u></p> <p><u>その後の第1回会議では、自治基本条例はだれのための条例か、また本当に必要なものなのかという議論から始まりました。</u>このとき全国には200以上の事例</p>

茂原市自治基本条例を考える市民の会 1年半を振り返って (H25.9.25)

項目	H25.9.11 運営委員会	H25.9.3 全体会
	<p>したが、ゼロからの出発でした。</p> <p>論点整理や会の進め方を検討して、まず、まちづくり分科会として「子育て・教育」、「福祉」、「環境・都市計画」の3分科会に分かれ、現状の課題や問題を<u>知り</u>、どのようにまちづくりにつなげていったらよいか、協議を<u>行い</u>ました。</p> <p>これらを踏まえつつ、次は、条例づくり分科会として「議会」、「行政」、「地域自治・市民」に分かれ、それぞれ必要とする条例の内容を協議しました。2013年3月には、市民を対象にしたフォーラムも実施しました。それらをもとに運営委員会や全体会で協議・検討し、提言書としてまとめました。</p> <p>また、アドバイザー関谷昇千葉大学准教授からは、全体会やフォーラムで<u>有意義な</u>示唆をいただきました。</p> <p>市民の会は、概ね月2回、午後6時から9時頃までの会議でした。9月末で37回を数えます。このほかにフォーラムや広報委員会や運営委員会もありました。</p> <p>仕事を終えて急いで駆けつけてくれた若者や子育て世代の方、いくつもの活動で多忙な方、仕事の合間をぬって参加されている方もいました。白熱した議</p>	<p>がありましたが、ゼロからの出発でした。</p> <p>論点整理や会の進め方を検討して、まず、まちづくり分科会として「子育て・教育」、「福祉」、「環境・都市計画」の3分科会に分かれ、現状の課題や問題を<u>掘り下げ</u>、どのようにまちづくりにつなげていったらよいか、協議を<u>重ね</u>ました。</p> <p>これらを踏まえつつ、次は、条例づくり分科会として「議会」、「行政」、「地域自治・市民」に分かれ、それぞれ必要とする条例の内容を協議しました。市民を対象にしたフォーラムも実施しました。それらをもとに運営委員会や全体会で協議・検討し、提言書としてまとめました。</p> <p>また、アドバイザー関谷昇千葉大学准教授からは、全体会やフォーラムで<u>たくさんの</u>示唆をいただきました。</p> <p>市民の会は、概ね月2回、午後6時から9時頃までの会議でした。9月末で37回を数えます。このほかにフォーラムや広報委員会や運営委員会もありました。</p> <p>仕事を終えて急いで駆けつけてくれた若者や子育て世代の方、いくつもの活動で多忙な方、仕事の合間をぬって参加されている方もいました。白熱した議</p>

茂原市自治基本条例を考える市民の会 1年半を振り返って (H25.9.25)

項目	H25.9.11 運営委員会	H25.9.3 全体会
	<p>論、共感や異論、さまざまな議論を積み重ねてこの提言書が完成しました。</p> <p>条例づくりの段階では、分科会での議論、全体のまとめと言葉や文章の検討にも時間がかかり、予定の1年では完成に至らず、半年の延長となりました。</p> <p>ここまで続けてくることができたのは、自分たちの住む茂原が<u>よりよいまちになってほしい</u>という願いからであったと思います。</p> <p>活動を通して私たちはたくさんのことを学びました。自治とは何？福祉とは？自治基本条例っていったい何？というところから自主学習も重ねました。さまざまな議論や学習を経て一定の合意をもとにまとめることができたのです。時間はかかっても話し合っ て決めることの大切さ、その前提として情報の公開と市民参加の機会の保障が不可欠であることを体験しました。</p> <p>また、広報の取材で、地域の交流活動で活躍されている方々や子どもたちに元気な茂原を体験させたいとイベントを企画実践している若者たち、NPO を立ち上げ地域の福祉やまちの活性化に活躍している方々に出会うこともできました。</p>	<p>論、共感や異論、さまざまな議論を積み重ねてこの提言書が完成しました。</p> <p>条例づくりの段階では、分科会での議論、全体のまとめと言葉や文章の検討にも時間がかかり、予定の1年では完成に至らず、半年の延長となりました。</p> <p>ここまで続けてくることができたのは、<u>このままで茂原は取り残されてしまうという、学ぶほどに高まる危機感と、自分たちの住む茂原がよいまちであってほしい</u>という願いからであったと思います。</p> <p>活動を通して私たちはたくさんのことを学びました。自治とは何？福祉とは？自治基本条例っていったい何？というところから自主学習も重ねました。さまざまな議論や学習を経て一定の合意をもとにまとめることができたのです。時間はかかっても話し合っ て決めることの大切さ、その前提として情報の公開と市民参加の機会の保障が不可欠であることを体験しました。</p> <p>また、広報の取材で、地域の交流活動で活躍されている方々や子どもたちに元気な茂原を体験させたいとイベントを企画実践している若者たち、NPO を立ち上げ地域の福祉やまちの活性化に活躍している方々に出会うこともできました。</p>

茂原市自治基本条例を考える市民の会 1年半を振り返って (H25.9.25)

項目	H25.9.11 運営委員会	H25.9.3 全体会
	<p>市民の会が実施した子育て中の保護者を対象にしたアンケート調査では、多数の方に協力をいただきました。</p> <p>市内にはさまざまな活動や地域の独自の文化や習慣があります。</p> <p><u>各地域の歴史・文化・自然、人、法人、企業、活動団体等々の“茂原の社会資源”を眠らせていてはもったいないです。</u></p> <p><u>きっかけさえあれば、まちづくりに参加していただける市民の方々は多いと思います。</u></p> <p><u>大都市の一部</u>では再開発と繁栄が進む一方で、多くの地方都市が少子高齢化、人口<u>減少</u>、財政難、経済の低迷によるシャッター街などに悩んでいます。茂原市も例外ではありません。むしろ深刻な状況にあります。</p> <p>茂原市の財政は、<u>高度経済成長期における負債の中で、特に土地開発公社の債務負担行為により危機的に</u>厳しく、行財政改革によって立て直しが図られているところです。そのうえに、少子高齢化、人口<u>減少</u>は進行が速く、<u>税収減と社会保障費・医療費の増大につながり、これから益々苦しくなっていきます。</u></p> <p>また、国は地方の行財政の自由度を高めていますか</p>	<p>市民の会が実施した子育て中の保護者を対象にしたアンケート調査では、多数の方に<u>回答</u>の協力をいただきました。</p> <p>市内には他にもさまざまな活動や地域の独自の文化や習慣<u>もあるでしょう。また、</u>きっかけさえあれば、元気なあるいはきれいなまちづくりに参加していただける市民の方々は少なくないのではないかと想像しています。歴史、文化、自然、人、法人、企業、活動団体等々の“茂原の社会資源”を眠らせていてはもったいないです。</p> <p>大都市では再開発と繁栄が進む一方で、多くの地方都市が少子高齢化、人口<u>減</u>、財政難、経済の低迷によるシャッター街<u>化</u>などに悩んでいます。茂原市も例外ではありません。むしろ深刻な状況にあります。</p> <p>茂原市の財政は<u>もともと</u>厳しく、行財政改革によって立て直しが図られているところです。そのうえに、少子高齢化、人口<u>減</u>は進行が速く、<u>税収減と社会保障費・医療費の増大につながり、これから益々苦しくなっていきます。</u></p> <p>また、国は地方の行財政の自由度を高めていますか</p>

茂原市自治基本条例を考える市民の会 1年半を振り返って (H25.9.25)

項目	H25.9.11 運営委員会	H25.9.3 全体会
	<p>ら、この点からも厳しさに拍車がかかるかもしれません。地方<u>自治体</u>の行財政の自立が求められているのです。</p> <p>茂原市を振り返ったとき、私たちの住む茂原は未来を担う子どもを育む場になっているのでしょうか。子育てしやすいまちでしょうか。働きたい人の雇用が確保されているのでしょうか。高齢者が長生きしてよかったといえる<u>まち</u>でしょうか。<u>障がいを持つ人が安心して暮らせるまち</u>でしょうか。文化やスポーツまた自然など、余暇が楽しめるまちでしょうか。安全・安心のまちでしょうか。</p> <p>経済成長の時代には公共施設、医療機関、道路や下水道などの整備や行政サービスの充実が図れたでしょうが、低迷期の今はそれが望めません。だからといって、私たち市民はこれ以上<u>税金</u>を払うことができません。この厳しい現状を切り抜け、私たちの茂原にしていけるためにはどうすればよいのでしょうか。</p> <p>まず市民<u>一人</u>ひとりの幸福を基本に据え、市民が個々にあるいは集団として<u>出来ること、なすべきこと</u>、行政が<u>出来ること出来ないこと</u>や市議会の役割を改めて見直してみましよう。</p> <p>そして、単独でできないことは、互いに力を合わせ</p>	<p>ら、この点からも厳しさに拍車がかかるかもしれません。地方<u>政府</u>の行財政の自立が求められているのです。</p> <p>茂原市を振り返ったとき、私たちの住む茂原は未来を担う子どもを育む場になっているのでしょうか。<u>両親にとって</u>子育てしやすいまちでしょうか。働きたい人の雇用が確保されているのでしょうか。高齢者が長生きしてよかったといえる<u>地域</u>でしょうか。文化やスポーツまた自然など、余暇が楽しめるまちでしょうか。安全・安心のまちでしょうか。</p> <p>経済成長の時代には公共施設、医療機関、道路や下水道などの整備や行政サービスの充実が図れたでしょうが、低迷期の今はそれが望めません。だからといって、私たち市民はこれ以上税金を払うことができません。この厳しい現状を切り抜け、私たちの茂原にしていけるためにはどうすればよいのでしょうか。</p> <p>まず市民<u>ひとり</u>ひとりの幸福を基本に据え、市民が個々にあるいは集団として<u>できること</u>、行政が<u>できることできないこと</u>、<u>市民の代表としての</u>議会の役割を改めて見直してみましよう。</p> <p>そして、単独でできないことは、互いに力を合わせ</p>

茂原市自治基本条例を考える市民の会 1年半を振り返って (H25.9.25)

項目	H25.9.11 運営委員会	H25.9.3 全体会
	<p>ていきましょう。行動にあたり、市民の権利と役割、行政・議会の<u>役割と責務</u>を確認し、三者が協働してまちづくりをしていくためのルールを決めておきましょう。それが自治基本条例です。</p> <p>自治基本条例という名称は<u>固く、なじみにくいということもあり、私たちは「茂原市まちづくり条例」と提言することになりました</u>。茂原市まちづくり条例が成立することによって眠っている茂原の社会資源が活用できる制度や仕組みが整備されることや、また災害時や高齢者福祉などで、それぞれの活動団体が相互に連携してことにあたるような<u>制度や仕組み</u>も期待されます。市民の力が地域の<u>まちづくり</u>に生かされ、茂原市の<u>まちづくり</u>が充実していくことを望んでいます。</p> <p>こうして私たちが市民の会の委員としてまさに行政への市民参加ができたのは<u>市長</u>の呼びかけがあったからこそで、画期的であり、素晴らしかったと思っています。これからこうした企画こそ望まれるところで、その環境を整えるものが茂原市まちづくり条例であると改めて確認した次第です。</p> <p>今回の市民の会の運営に当たっては、事務局として企画政策課の職員の方々を中心に、他所属の職員の</p>	<p>ていきましょう。行動にあたり、市民の権利と役割、行政・議会の責務を確認し、三者が協働してまちづくりをしていくためのルールを決めておきましょう。それが自治基本条例です。</p> <p>自治基本条例という名称はなじみにくく、「茂原市まちづくり条例」としました。茂原市まちづくり条例が成立することによって眠っている茂原の社会資源が活用できる制度や仕組みが整備されることや、また災害時や高齢者福祉などで、それぞれの活動団体が相互に連携してことにあたるような<u>システム</u>も期待されます。市民の力が地域の<u>自治</u>に生かされ、茂原市の<u>自治</u>が充実していくことを望んでいます。</p> <p>こうして私たちが市民の会の委員としてまさに行政への市民参加ができたのは<u>市企画政策課</u>の呼びかけがあったからこそで、画期的であり、素晴らしかったと思っています。これからこうした企画こそ望まれるところで、その環境を整えるものが茂原市まちづくり条例であると改めて確認した次第です。</p> <p>今回の市民の会の運営に当たっては、事務局として企画政策課の職員の方々を中心に、他所属の職員の</p>

茂原市自治基本条例を考える市民の会 1年半を振り返って (H25.9.25)

項目	H25.9.11 運営委員会	H25.9.3 全体会
	<p>方々の多大な尽力があつてのことと感謝しています。 ありがとうございました。</p> <p><u>茂原市自治基本条例を考える市民の会</u> 代表 <u>北田 豊</u> <u>河野 眞英</u></p>	<p>方々の多大な尽力があつてのことと感謝しています。 ありがとうございました。</p>